

■□ 解題

東日本大震災と協同組合 ―これまでとこれからの10年を見据えて―

北川 太一（摂南大学 教授）



私、研究所の運営委員長を務めております北川太一です。今日の全体的な進行を務めますので、よろしくお願いいたします。それでは最初に若干の解題を申し述べておきたいと思います。

今、理事長から話がありましたように、本日のテーマは『東日本大震災と協同組合』というテーマです。なお、お手元に事前配信でレジュメをお配りしてるかと思いますが、それを少し要約したパワーポイントを使ってお話をします。まずシンポジウムの趣旨ですが、今ありましたように東日本大震災から10年、震災復興における協同組合の役割、貢献、今後に向けての展望ということです。このことは、これからの日本社会が、災害を避けて通れない社会になっている。そういうなかで、協同組合の課題、あるいはアイデンティティを見据えながら議論したいというのが今回の趣旨です。

ところで、研究所では、こうした自然災害等の問題に、かねてより取り組んでまいりました。早くには、阪神・淡路大震災のこともあったわけですが、2011年3月の東日本大震災以降を取り上げても、当時の特別分科会「くらしと協同のこれからを想像する」を皮切りに、ご覧のようなかたちで、比較的継続してこの問題に取り組んできた経過があります。お手元の配信資料のレジュメの末尾のところに、もう少し詳しく、この間の取り組みを掲載しておりますので、またあらためて振り返っていた

だきたいと思います。2012年以降も「協同組合間の連帯」、「協同組合の役割」、「人間の幸福と生き方」、こういうことをキーワードにして、特に、浜岡先生や上掛先生を中心に、分科会を設定してきた経過があります。以前の『協う』においても、2012年には若林理事長を中心に震災1年ということで座談会を開催していますし、また『くらしと協同』が2012年に創刊リニューアルしたわけですが、第1回の特集が「争論・協同を語る」ということで、このあと基調講演をいただきます濱田先生にも登場いただきました。いずれにせよ、こうした東日本大震災の問題を、ややもすれば、われわれ西のほうにいますと、現実を忘れてしまいがちです。そういうことなく、ずっと目を向けて、この間見てきたんだろうと思います。そこで一貫しているのは、暮らし、あるいは暮らし方、地域、コミュニティ、さらには協同というもののまなざし、これらの点で一貫してきたのではないかと思います。

その背景には、このあとまた基調講演等で話が出るかもしれませんが、復興の構想を掲げている外部からの参入に期待するような動きや規制緩和の問題。さらには社会的な意味も含めた「制度」の軽視。つまり、地域の人たちが長年にわたって積み上げてきたものを軽視したような復興構想。それらを構造改革論と呼んでもいいかもしれませんが、そういう考え方が1つの背景にある。さらには、私は、最近強く感じるの

すが、情報も含めた生産技術への過度な期待もあるように思います。決して技術論を無視するわけではありませんけども、スマート農業やIT化、デジタル化といったことに対する技術万能論が、やや過ぎている印象を持っています。つまり、第一次産業とか食、あるいは地域経済という問題は、もちろんその構造改革や技術の問題も大事ですけども、生産と生活、あるいは地域社会、コミュニティの重なり合いというものの方が非常に重要ではないかと思うわけです。

こう考えたときに、私たち生協とか協同組合の役割というものは、非常に、あるいはこれまで以上に重要になってくるのではないかと。生協をはじめとする協同組合の課題、取り組むべきこと、いろいろあると思いますけども、大きく2つ述べます。1つは食、地域社会を基盤とする農林漁業の価値をあらためて重視して、第一次産業も含めた持続可能な社会の創造が展望できるかどうか、これが1点です。さらにそれに加えて、そうした展望のもとで、生協をはじめとする協同組合が主体的に関与できるかどうかということだと思います。どういうふうに具体的に関与できるかという問題は、またこのあとの議論で深めていってほしいと思いますが、2つだけ挙げていきますと、1つは、生協が持っている総合力、それをどう生かすかということです。2つには生協、農協、漁協、それぞれの枠組みにとらわれなくて、いわゆる協同組合間協同、協同連携と言ってもいいかもしれませんが、その仕組みをいかに生かせるかという点がポイントだと思います。そんなことも含めて、今日はいろいろと現場の状況からも学んでいきたいと考えます。

本日は、ご案内のように、濱田先生による基調講演と6名の協同組合で奮闘されている方々からの現地報告をお願いしていま

す。何分、リモート開催という不慣れな方法ではありますが、活発な議論をお願いしたいと思います。